

秋田で働く
という選択。

秋田にはいま、様々な分野で本気で挑戦を続ける企業があります。古くからこの土地を見つめてきた会社がある一方で、県外からの誘致企業も次々と根を張り、新しい仕事や、そこでしか生まれない価値観が生まれています。選べる仕事の幅がぐんと広がったいまだからこそ、ものづくりの現場、建設業界、そしてITの分野と、それぞれの業界を率いるトップランナーの方々に集まっていただき、「秋田で働くという選択」について、ともに考えていただきました。

かなと思っています。

松浦 秋田県は杉の人工林保有量が全国 No.1 なんだよね。長く年数が経った木はちゃんと切ってあげて、製品化して価値を作ってあげて、植林をする。これは世界の潮流にも乗っている。社会貢献ができるビジネスです。うちは誘致企業なんだけど、県外から来た社員にとっては、秋田の食事はとても美味しくて満足度高い。義務教育のレベルも高いから家族で来る方々は満足して働いてくれます。

山崎 ものづくりの工場という昔は、人件費が都会と比べて安いですが、人が集まりやすいですよというような労働集約型でしかた。だけど今は、農業をやりますが会社に通入る人がいた。ものづくりの現場が自動化してロボットも導入されてそういうものをやりたいという人が増えたり。多様な働き方になっていきます。

田中 誘致企業として秋田に来て9年です。自動車、電動パワーステアリングなどソフトウェアの開発拠点として、トヨタや日産、国内・海外の自動車メーカーと仕事をしています。ＩＴ関連の会社は、サテライトとして地方でも(都会と変わらず)働ける魅力がある。コロナ禍を経てリモートワークがかなり広がり、SNSでの発信も増えました。若い世代には、秋田にもこんな会社があるんだって、どんなアピールをしていきたいですね。

Q1 いま、秋田の仕事で変わってきていること

域。空気も綺麗です。
 松浦 秋田は災害が少ないですね。地震も少ないし、台風も西と比べてかなり少ない。それに犯罪率が少ない。あとやっぱり秋田は四季にメリハリがある。すくい冬があつて、春夏がある。だからさだと思ふんですけど、すくい地域のお祭りを大事にしている。地域のつながりはすく感じます。

松浦 日本の木造住宅って50%は海外

松浦 日の木造住宅で75%は海外の木です。そこを国産材秋田の木に置き換えないかと思っています。それによって世界では木材から航空燃料だったり合成燃料が作れるようになって来たりしている。木材から必要なものを抽出して価値の高いものに化けさせる。世界では進んでいます。日本はまだまだ秋田は山林が多いので、大化けする可能性は十分にあると信じています。

ります。新しいことにチャレンジしたい、秋田には可能性があ



る」と言い続けてきました。ただ、まだまだ秋田をPRする力が足りない気がします。点である産学官の連携をもっと面にして発信していかなければならないと感じています。



山崎 製造業で言えば、特にSDGsやカーボンニュートラルの推進がありますが、秋田は風力発電や水力発電が非常に進んでいます。研究開発などイーTを活用すれば秋田にいいながらにすることは無限にあると思います。

Q5 読者の方々へのメッセージ

田中 想像力があるからいいものができるし、良いアイデアが生まれる。いい環境、いい空気があるから、想像力ももっと豊かにできるし、それは環境が作り出すと思うるので、秋田はそういう心を豊かにできる場所ですって言いたいですね。

そういう心を豊かにできる場所ですって

山崎 秋田は、自分に戻れる時間。ホッとできる時間を作れるのがすごく魅力です。若い方々は、それと秋田以外も見て、戻ってくるという選択もいいます。そしてこれは親御さんとおじいさん、おばあさんに伝えたいんですけど、お子さんが秋田に帰ってくる、それは必ずしも実家に入ることではないんです。例えば、距離感をもってお互いの生活パターンを重視して迎えて貰えればと思います。

迎えて貰えればと思います。

菅原 私生活時代は東京ですが、秋田には何も無いというイメージが秋田に戻ってきたんですが、秋田の秋田人にもいろいろメジャーなものづくりに消費しました。すごく自分自身のQOLが上がってるなっていう感じがします。それに建設業そのものは、担い手不足と言われていますが、それは自分が即戦力になれるチャンスだと思っているんです。Aが発達した今だからこそ、我々のブルカールカールといわれる仕事の価値はますます上がっていると思います。

ルーカラーといわれる仕事の価値はます

吉田 当社のように全国の主要地域に事業所があって、転職をしなくても都会で働く経験ができる企業もあります。秋田で就職したけど、ちょっと都会にも魅力があるなっていう人の受け皿にもなればいいですね。

皿にもなればいいですね。

松浦 自分の故郷で働くというのは、すごく深い価値があると思う。その土地の強みとか文化、つながりがある人がいるというのは、働くうえでも意外と武器になったりもする。秋田に面白い会社がたくさんある。それを見つけてもらって、ぜひ一緒に秋田をみんなで盛り上げていけたらと思います。

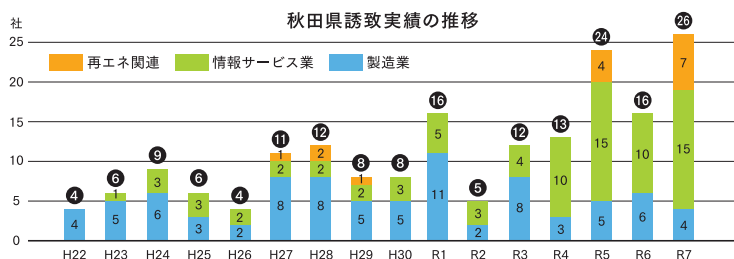
緒に秋田をみんなで盛り上げていけたら

秋田で働く
という選択。

個別企業紹介は
リーフレットをチェック！

秋田に新しい企業がどんどん増えています！

令和7年度の誘致件数は26件。IT、医療、製材、自動車関連、再生可能エネルギー関連業など、多種多様な企業が秋田で新しく事業を開始しています。



秋田で暮らそう、働こう！

KocchAke! こっちゃ、け!

秋田県就活情報サイト

もっと知りたい“秋田で働くという選択。”

県内企業情報や就活・Aターン関連情報を掲載中！



秋田県